



2015年10月29日

各位

会社名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ
 代表者名 代表取締役社長 関 勇 一
 (コード番号: 5726 東証第一部)
 問合せ先 総務部長 土井 卓
 (TEL. 06-6413-9911)

平成28年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と決算値の差異
 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2015年9月30日に公表しました平成28年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と、本日公表の実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績等の動向を踏まえ、2015年4月28日に公表しました平成28年3月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想値と実績値の差異について

(1) 平成28年3月期 第2四半期累計期間の業績予想値と実績値の差異
 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|------------------------------------|--------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 23,400 | 400 | 900 | 600 | 16.30 |
| 第2四半期累計期間実績 (B) | 23,569 | 50 | 552 | 327 | 8.90 |
| 増減額 (B-A) | 169 | △350 | △348 | △273 | — |
| 増減率 (%) | 0.7 | △87.5 | △38.7 | △45.5 | — |
| (ご参考) 前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期) | 19,417 | 1,469 | 2,083 | 1,439 | 39.10 |

(2) 差異が生じた理由

利益につきましては、下期に見込んでおりました次頁に記載のチタン増産準備を一部前倒ししたこと等により、前回予想値を下回りました。

2. 業績予想の修正について

(1) 平成28年3月期通期業績予想数値の修正 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|--------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 44,300 | 1,800 | 1,800 | 1,000 | 27.17 |
| 今回修正予想 (B) | 46,800 | 1,800 | 2,300 | 1,300 | 35.33 |
| 増減額 (B-A) | 2,500 | 0 | 500 | 300 | — |
| 増減率 (%) | 5.6 | 0.0 | 27.8 | 30.0 | — |
| (ご参考) 前期実績 (平成27年3月期) | 40,356 | 2,764 | 3,496 | 2,666 | 72.47 |

(2) 業績予想数値の修正理由

売上高につきましては、4月時点の予想値に対し為替水準が円安基調で推移していることに加え、チタン事業で国内向けを主体に販売数量が増加すること等による増収を見込んでおります。

利益につきましては、円安効果による好転があるもののチタンの販売増が在庫出荷での対応となることと、チタンの一段の増産の準備に関わるコストの影響もあり、営業利益は4月時点の予想値を据え置き、経常利益及び当期純利益は第2四半期累計期間での為替差益と事業再構築引当金戻入益の計上により、4月時点の予想値を上回る見込であります。チタンの増産準備コストは、来期に一段の拡販が見込まれることから今期末から一段の増産体制を敷く計画であり、これに伴い休止設備の追加整備費用や期間工の追加増員等に関わるコストの発生を見込んでおります。

なお、上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上